

歌津からのお客さま、ユツンに降り立つ

「TsunDAMIアイランド野外フェス2015」のゲストとして石垣を訪れていた宮城県南三陸町のみなさんが、11月21日に西表まで足を伸ばしてくれました。

短い時間でしたが、ポストの第一発見者と感動の再会(!?),そしてポストの漂着していたユツン海岸に降りて感慨を新たにした後、できるかぎりの島内観光も楽しんで、元気いっぱい再び石垣へと旅立っていきました。

野外フェスではポスト帰還パレードの再現が行われたほか、歌津の物産販売ブースもあってみなさん大忙しだったようです。

宮城県南三陸町
劇団メンバー
西表島の漂着地を訪問
漂流ポストの旅を演劇に



南三陸町演劇チーム「おらほの劇場」のメンバー=21日午前、西表島北東部のユツン川河口付近

we support!

RQ

災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒龍を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
かめぼし しんぶん

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

DECEMBER
11
2015

2011年3月11日の東日本大震災で宮城県南三陸町歌津から流され、約2400㎡離れた西表島に漂着した後、ふるさとに戻ってきた郵便ポストの旅を、演劇「おけりり うたつのポストくん」に仕立てた同町の演劇チーム「おらほの劇場」のメンバー8人が21日午前、ポストが流れ着いた西表島ユツン川河口付近の海岸を訪れた。22日の石垣島公演を前に、ポスト役を務める高橋未来さん(28)は「戻ってきたポストの中は空っぽだったが、いろいろな人の思いを持って帰ってきてくれた」と感謝、公演でポストの思いを代弁する。

ポストは、コンビニエン「いたもの。津波で流されたストア「セブンイレブン」後、12年12月28日にユツン宮城歌津店」に設置されて、川河口付近で発見された。

た5河会
い後川協

翌13年8月11日に帰郷したポストの無事を祝い、BEGINが中心となって毎年、「あげえポストのたびまつり」を開催している。

震災前、ポストをよく利用したという佐藤裕さん(22)は「歌津では四角のポストは珍しく、戻ってきたときにすぐあのポストだと分かった。道のない海の上を歌津からここまでやってきた」と感慨深げ。

ポストの上に缶コーヒーを置き、よく友人らと会話を

していたという宮川賢司さん(41)は「ポストがあるのは日常の風景だった」と思い出に浸った。

千葉裕美さん(29)は「津波で多くのものが奪われたが、ポストが戻ってきてくれた。ポストは皆に『もしかしら』という希望を与えてくれた」と話した。

ポストを保管していた西表島エコツーリズム協会によると、ポストは船などと同じ繊維強化プラスチック(FRP)製で、郵便物は入っていないかった。

ユツンの海岸で、漂着したポストが見ていた西表島の風景を目の当たりにし、ポストが運び上げられた細道をよじ登る体験もしたみなさん。翌22日の石垣の大川公民館での本公演では、きっと今まで以上に深みある演技を披露してくださったことでしょう。

短い日程の合間に西表を訪ねてくださって、ありがとうございました!

「西表島公演」の実現はいつになるでしょう?再会の日を楽しみにしています!

漂流ポストの劇に大喝采



東日本大震災の大津波で流された後、宮城県南三陸町に戻された郵便ポストをモチーフにした演劇「おけりり うたつのポストくん」の公演=22日午後、大川公民館

東日本大震災の大津波で流され、西表島に漂着した後、宮城県南三陸町に戻された郵便ポストをモチーフにした演劇「おけりり うたつのポストくん」の公演が22日午後、大川公民館で行われ、市民ら約200人が詰めかけた。

演じたのは南三陸町の演劇チーム「おらほの劇場」のメンバー8人。劇は大津波で流されたポストが、ウミガメや鳥たちと出会い、励まされながら、西表島に到着。旅で出会った仲間たちの思いをのせ南三陸に戻る物語。

公演後、サメ役を演じた南三陸町の佐藤裕さんは「復興にはまだまだほど遠いが、

「おらほの劇場」石垣公演

徐々に町は再生している。皆さんに支えられながら、これからも南三陸で頑張っていきたい」とあいさつ。

劇を見た桃原英華さん(41)は「ポストのことは、何となくは知っていた。芝居は内容が分かりやすく面白かった」と感想を述べた。

脚本・演出を担当した大城盛裕さんは「もっとポストのことをたくさんの人に知ってもらい、歌津に遊びに来てほしい」と話した。

公演後は、BEGINによるミニライブも行われた。

資料：八重山毎日新聞2015年11月22日、11月24日